

唾石治療するにはクチナシの実など

Q 六十歳、女性。数力月前から左のあごの下のリンパ腺（せん）がはれ、食事の時など痛むようになりしました。検査の結果、舌下腺に唾石（だせき）という石がたまっているとのこと。手術を勧められていますが、アレルギー体質なので、できれば手術は受けたくありません。

らあり、舌の下にはれ物ができ、舌が二枚あるようにみえることから重舌、また舌の裏に骨のような硬い突起ができることから舌骨などと呼ばれている。

A 唾石は一般の方には耳慣れない言葉と思われるが、唾液腺に石のできる病気で決して珍しい病気ではない。質問者のようにあごの下のはれ、下あごの違和感や痛み、唾液分泌の異常、首や肩の凝りなどの症状が現れる。

漢方でも唾石と思われる状態の記載は古くか

唾石にはクチナシの実である山梔子（さんし）がよく用いられる。当研究所東洋医学総合研究所初代所長の大家敬節先生は山梔子を含む唾石の排石剤として、唾石散と命名してよく用いた。内容は山梔子・枳実（きじつ）・芍薬（しゃくやく）・甘草（かんそう）の四味の生薬からなる。芍薬や枳実も排膿散（はいのうさん）などに含まれるように、排膿・排石作用がある。私の経験でも唾石の患者さんに用いたところ、ムズムズした感じがして何ら痛むことなく排出した、と実物を持参されて喜ばれたことがある。